

学生FD組織 活動報告

学生FD組織 SGUsers

1

学生FD組織の目的と経緯

- *「学生FD組織設置趣意書」の作成
- * 学生・各組織との連携・意見交換などを通してFDセンターと共に札幌学院大学における学習・生活環境の向上に取り組む

2

目的を達成するために...

- * 1. 学習環境を変えるという観点
 - * 2. 学生を変える観点
 - * 3. 教職員を変える観点
- * 現在、「学生を変える」という観点と「教員を変える」という観点から活動している

3

他大学交流

- * 他大学のサミットに参加し、どのような活動をしたのかなどの意見交換を行った



いくつかの独自の活動を行った

4

「学生を変えるという観点」の活動

* 教員を知るプロジェクト

- * 「教員と学生のつながり」に着目した活動
- * 1人の教員を取り上げ、インタビューやビデオ撮影を行い、教員紹介用のVTRを作成した

5

「教職員を変えるという観点」での活動

* 授業評価プロジェクト

- * 講義を学生の目線で評価し、良くする活動
- * 2人の教員の講義風景を撮影したビデオを見て、その講義に対しての良かった点、改善点を発見し、2人の教員に報告

6

他大学主催のサミットへの参加

- * 「学生FDサミット2013年度夏」へ参加
- * 京都で行われた「学生FDサミット2013年度夏」に参加
- * 全国の学生FD組織と意見交換

7

教員を知るプロジェクトの目的

- * 「**学生と教員のつながり**」に着目
- * 学生の中には教員との間に距離を感じている人もいるのでは？
→ 学生が主体的に動きづらくなる
- * **教員と学生の距離を近づけたい**

8

教員を知るプロジェクトの概要

- * 取材対象者：人文学部 内田司先生
- * 取材内容：研究対象、教育者としての指針、プライベートなどについて
- * VTRは札幌学院大学の教員紹介ページで閲覧可能

9

授業評価プロジェクトの目的

- * 学生の目線を取り入れ、札幌学院大学で行われている講義をより良くする
- * この活動で得た情報から、他の教員が利用できるような資料を作成し、提供する

10

授業評価プロジェクトの概要

* 取材対象者: 社会情報学部 皆川雅章先生

* 講義: 社会と情報

講義の特徴

1. iPadを使用
2. 毎回の講義の最初と最後に確認テスト
3. ノートの提出

良かった点

1. iPadの使用で私語や内職防止
2. 教科書を取り込みによる理解度の上昇

提案

ノートに学生の声や質問などを書いてもらう
⇒学生の意見を直接取り入れる

11

授業評価プロジェクトの概要

* 取材対象者: 経営学部 石川千温先生

* 講義: メディア応用論

講義の特徴

1. iPadを使用するグループ活動
2. プレゼンテーションの導入

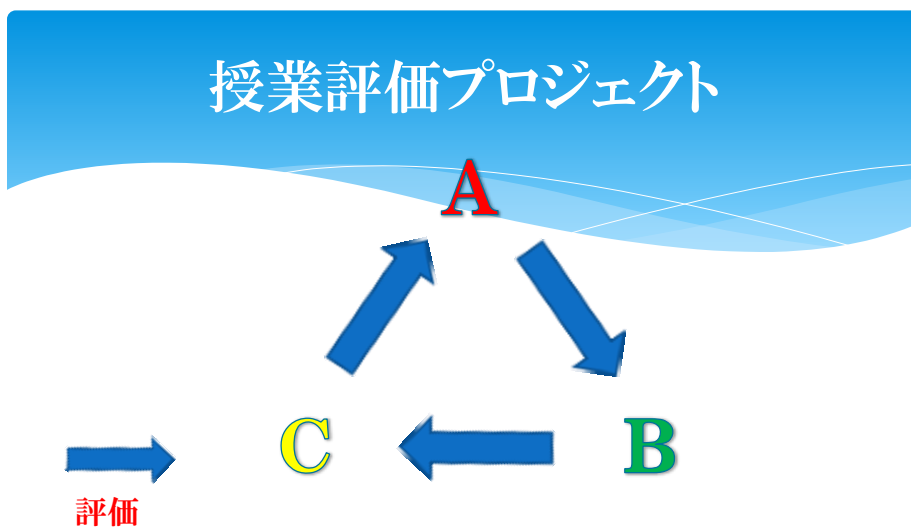
良かった点

1. 情報の伝達・収集・要約の能力向上が望める
2. 学生が主体的に活動できる

提案

1. スライドを1人1枚作成
2. グループ同士での相互評価の仕方

12



発表・評価能力の向上が期待できる！

13



活動風景

14



2013年夏 京都サミット



15

2013年夏 京都サミット

- * SGUsersが設けた2つの目標
 - * 他大学の活動を参考にする
 - どのような活動を行っているのか
 - * SGUsersが抱える問題点の解決策の入手
 - 「組織内の役割分担」や「人員不足」など

16

2013年夏 京都サミット

*ポスターセッション

- *SGUsersの活動報告・課題を解決するための情報収集
- *多くの大学の学生や、教職員の方々の意見を得ることが出来た

17

2013年夏 京都サミット

役割分担

人数の多い組織
意識共有や情報伝達などのために役職を設ける

少人数の組織
メンバー間の意識共有などがしやすいため、役職を設けていない

勧誘

ポスターの作成や必修講義での宣伝を行う

企画

シラバスの作成、しゃべり場、教員紹介冊子の作成

18

2013年夏 京都サミット

*分科会I

- *「教育改革の本丸へ☆真夏の学生FD
作戦会議」
- *「解決!学生FDアンサー」
- *「学生FD活動の大学間連携」

19

2013年夏 京都サミット

- *「解決！学生FDアンサー」
- * 他大学の人たちと現在抱えている問題を出し合い、解決策について話しあった

問題

人員不足・学生FD
組織が認知されて
いない

解決案

SNSの利用・学生
FD主催のイベント
を企画

20

2013年夏 京都サミット

*分科会Ⅱ

*「学生FD再考」

*「学生発案型授業の可能性と課題」

*「それでも僕は考えたい 学生FDへの思い」

21

2013年夏 京都サミット

*「学生FD再考」

* 趣旨：学生FDとは何かを改めて考えること



22

2013年夏 京都サミット

* 多くの情報を得ることが出来た



新たな企画の立案

新メンバーの勧誘

組織の運営

23

ご静聴ありがとうございました

学生FD組織 SGUsers

24